

令和4年度

第39回 公益財団法人 日本中学校体育連盟研究大会



福岡大会

令和5年

1/19(木)・20(金)

オリエンタルホテル福岡 博多ステーション

主催 / (公財) 日本中学校体育連盟・九州中学校体育連盟・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会
主管 / 福岡県中学校体育連盟
後援 / スポーツ庁・全日本中学校長会・福岡県中学校長会・福岡市立中学校校長会
(公財) 日本教育公務員弘済会福岡支部

あ い さ つ



(公財)日本中学校体育連盟

会長 平井 邦明

古くから大陸との交流窓口の役割を果たし、交流の拠点都市として発展を遂げてきた歴史をもち、九州地方の行政・経済・交通の中心地である福岡県福岡市において、令和4年度第39回公益財団法人日本中学校体育連盟研究大会福岡大会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。また、本大会を共催していただきました福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、九州中学校体育連盟、そして御後援を賜りましたスポーツ庁、全日本中学校長会、福岡県中学校長会、福岡市立中学校校長会、公益財団法人日本教育公務員弘済会福岡支部の皆様にご礼申し上げますとともに、主管されます福岡県中学校体育連盟の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、昨年度から全面実施となった学習指導要領において、「部活動」は、生徒の多様な学びの場として教育的意義が大きいことから、学校の教育活動の一環であるとされています。しかしながら、少子化により、従前と同様の運営体制で維持することが難しくなっていたり、休日の活動も含めて教師の献身的な勤務によって支えられていることから、長時間勤務の要因になっていたりする現状があります。そのため、「部活動」については「将来にわたっての持続可能性」と「教師の働き方改革」の両面から課題解決を図る必要があります。

本年6月6日にスポーツ庁より示された「運動部活動の地域移行に関する検討会議：提言」は、少子化の中、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会の確保に向けて、まずは、休日の運動部活動の地域移行を達成していこうとするものです。また、情報化の急速な進展により、社会が大きく変化する中で、AIなどの技術革新が進むSociety5.0という新たな時代に対応するため、学校教育も変革が求められています。

このように、今は、国の動向や学習指導要領などを踏まえ、「知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成」及び「生涯にわたってスポーツに親しむことができる生徒の育成」を求め、「運動部活動の更なる発展」を考えなくてはならない時代です。これらの課題解決には、各都道府県中学校体育連盟の皆様のご支援とご協力が不可欠となります。あらためて、よろしくごお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍の中、本研究大会の開催に向けて御準備いただきました福岡県中学校体育連盟の皆様にご敬意を表するとともに、本研究大会の成功と全国から参加されております会員の皆様のご益々の御活躍を祈念し、大会のあいさつといたします。

令和4年度 第39回（公財）日本中学校体育連盟研究大会福岡大会開催要項

- 1 趣 旨 （公財）日本中学校体育連盟（以下、本連盟という）は、本連盟に加盟する中学校の体育・運動部活動指導者が一堂に会し、当面する諸課題およびこれからのよりよい体育・運動部活動の目指す方向等について、日頃の実践的な研究成果を発表し、研究協議と情報交換をする機会とすることにより、生涯スポーツの充実・発展を資するために、（公財）日本中学校体育連盟研究大会を開催する。
- 2 主 催 （公財）日本中学校体育連盟 九州中学校体育連盟 福岡県教育委員会
福岡市教育委員会
- 3 主 管 福岡県中学校体育連盟
- 4 後 援 スポーツ庁 全日本中学校長会 福岡県中学校長会 福岡市立中学校校長会
（公財）日本教育公務員弘済会福岡支部
- 5 日 時 令和5年 1月19日（木）第1日目 12：45～17：00
1月20日（金）第2日目 9：00～11：30
- 6 会 場 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション
〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 4-23
Tel.092-461-0170
- 7 参加対象 （公財）日本中学校体育連盟に加盟している都道府県中体連から8名以内とする。
但し、特別賛助会員は、各社、各分科会に2名以内の参加を認める。
- 8 研究主題とその内容
 - (1) 研究主題 豊かなスポーツライフの実現に向けて
～持続可能な運動部活動の在り方と中体連の役割～
 - (2) 内 容
 - ① 全体会
 - A 講 演
演 題：「木の上に乗って見ましょ
～アスリートの自立を引き出すコーチング～」
講 師：東京ガスケミカル(株)取締役常務 阿久根 謙司 氏
 - B シンポジウム
協議題：「学校教育とこれからの運動部活動～中体連に期待するもの～」
 - コーディネーター
テレビ西日本 アナウンサー 山口 喜久一郎 氏
 - シンポジスト
野球塾 コビーズ 代表 小林 亮寛 氏（元プロ野球選手）
ライジングゼファー福岡 取締役育成普及部部长 鶴我 隆博 氏（元中学校教師）
中村学園女子高等学校 剣道部 監督 岩城 規彦 氏
関西大学 人間健康学部 教授 神谷 拓 氏
 - ② 分科会
次のテーマごとに分科会を設け、パネルディスカッション形式により研究発表及び研究協議を行う。研究発表が割り当たっている当該中体連の発表者はパネリストとなる。

- 第1分科会 (中体連の組織・運営)
「中体連の組織及び競技会の在り方とその運営」
・望ましい中体連組織の運営及び諸課題への対応
・望ましい競技会の運営及び諸課題への対応
- 第2分科会 (育成・健康安全)
「豊かな心と健やかな体を育む運動部活動」
・生徒の主体的・協働的な力を育む運動部活動の運営
・意欲を喚起させる運動部活動経営
・競技力向上や健康体力の保持増進を目指した運動部活動
・運動部活動における健康安全管理
- 第3分科会 (連携)
「連携でつくる運動部活動」
・学校教育活動との関連・連携による運動部活動の活性化
・地域単位で支える運動部活動運営の在り方
・部活動指導員及び外部指導者の活用と連携
・関係諸機関及びスポーツ団体との連携・協力の在り方
- 第4分科会 (課題対応)
「当面する運動部活動の諸問題」
・生徒減少期における運動部活動の在り方
・指導者の資質向上
・持続可能な学校運動部活動の運営

9 日程

第一日	10:00	12:00	12:45	13:15	14:50	15:00	16:50	17:00
	司会者・発表者 助言者・記録者 運営責任者 打合せ会 (機器調整 含む)	受 付	開 会 行 事	講 演	移 動	シンポジウム	次 年 度 挨拶	

第二日	8:45	9:00	11:20	11:30
	受 付	分科会 研究発表及び協議 (パネルディスカッション)	閉 会 行 事	

10 発表者及び提出資料

(1) 研究発表担当都道府県及び順序 (発表時間 15分程度)

形式	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
研究発表 (パネリスト)	近畿・大阪 四国・徳島	北信越・長野 関東・千葉	東海・三重 東北・岩手	北海道 中国・広島
紙上発表	九州・鹿児島	九州・宮崎	九州・大分	九州・長崎
指導助言者	(公財) 日本中学校体育連盟			
	九州・鹿児島	九州・宮崎	九州・大分	九州・長崎
司会者	九州・鹿児島	九州・宮崎	九州・大分	九州・長崎
運営責任者	実行委員会 (福岡県中学校体育連盟)			
記録者	実行委員会 (福岡県中学校体育連盟)			

(2) 提出資料の種類

- ① 研究発表担当都道府県中体連からの提出資料
 - ・分科会の研究主題に基づいた実践研究の成果
- ② その他
 - ・都道府県または学校の優秀な資料

(3) 提出資料の取り扱い

(2) ①・②の各資料を研究紀要としてまとめ、各都道府県中体連・司会者・助言者等には事前に送付する。

(4) 提出資料の作成要領

- ① 研究発表担当都道府県中体連からの提出資料
資料は、分科会ごとの研究テーマに沿って各都道府県中体連で特に解決を迫られている課題、かつ将来的にかかるべきとする提言等について、具体的な案をまとめて作成する。分科会のサブテーマとして、挙げられているものの中から選ぶか、それに関連するテーマを独自に取り上げてよい。

② その他

○提出原稿について

- ・ワープロソフト「Word」「一太郎」を使用する。
- ・ワープロ規格 A4 版（横 40 字×縦 36 行）により、4 枚にまとめる。
- ・発表のプレゼンテーションソフトは「パワーポイント」を使用する。
- ・原稿・資料のデジタルデータを送付する。
- ・研究物、資料があれば別途提出する。
- ・提出原稿の図表等は明瞭なものにする

○大会終了後、研究紀要等をホームページに掲載する。

(5) 提出方法

- ① 発表者の報告 令和 4 年 8 月 31 日（水）
- ② 原稿提出期日 令和 4 年 10 月 28 日（金）
- ③ 提出先

〒814-0006 福岡県福岡市早良区百道 3-10-1 福岡市教育センター内
福岡県中学校体育連盟 事務局
TEL 092-406-8791 / FAX 092-406-8793
Mail f-chutai@vesta.ocn.ne.jp

11 参加申込及び参加費

- (1) 申込方法 名鉄観光サービス株式会社
- (2) 申込締切 令和 4 年 10 月 31 日（月）
- (3) 申込先 別紙申込要項による
- (4) 参加費 一人 6,000 円

12 その他

- (1) (公財) 日本中学校体育連盟研究部会の開催
日時：令和 5 年 1 月 18 日（水）14:00～16:00
1 月 19 日（木）9:00～10:00（予備）
会場：オリエンタルホテル福岡 博多ステーション
- (2) 宿泊については、別紙宿泊要項による
- (3) 医療、救護については別紙記載

令和4年度 第39回大会(公財)日本中学校体育連盟研究大会 福岡大会日程

一 日 目	10:00	12:00	12:45	13:15	14:50	15:00	16:50	17:00
	司会者・発表者 助言者・記録者 運営責任者 打ち合わせ会	受 付	開 会 行 事	講 演	休 憩	シンポジウム	次 年 度 挨拶	
二 日 目	8:45	9:00	11:20	11:30				
	受 付	分科会 研究発表及び協議 (パネルディスカッション)		分科会 行 別 事				

【1日目 1月19日(木)】

会 場 : オリエンタルホテル福岡 博多ステーション

1 開会行事 12:45~13:15 3階 YAMAKASA

- | | | |
|-----------------------|------------------|-------|
| (1) 開会のことば | 福岡県中学校体育連盟副会長 | 阿武 正俊 |
| (2) 国歌、(公財)日本中学校体育連盟歌 | 斉唱 | |
| (3) 主催者あいさつ | (公財)日本中学校体育連盟副会長 | 小野坂寧晃 |
| | 福岡県教育委員会教育長 | 吉田 法稔 |
| (4) 祝辞 | スポーツ庁地域スポーツ課長 | 橋田 裕 |
| (5) 歓迎のことば | 福岡市教育委員会教育長 | 石橋 正信 |
| (6) 来賓紹介 | 福岡県中学校体育連盟副会長 | 飯田 恵文 |
| (7) 基調報告 | 福岡県中学校体育連盟会長 | 野口 修司 |
| ※ 日程説明 | 福岡県中学校体育連盟理事長 | 石井 洋安 |

2 講 演 13:30~14:50 3階 YAMAKASA

- | | | |
|------|------------------------------------|-------|
| 講師紹介 | 福岡県中学校体育連盟研究部長 | 木村慶太郎 |
| 演 題 | 『木の上に立って見ましよう~アスリートの自立を引き出すコーチング~』 | |
| | 阿久根 謙司 氏 (東京ガスケミカル(株)取締役常務) | |
| 謝 辞 | 福岡県中学校体育連盟副会長 | 阿武 正俊 |

3 シンポジウム 15:00~16:50 3階 YAMAKASA

『学校教育とこれからの運動部活動~中体連に期待するもの~』

- ・コーディネーター
山口 喜久一郎 (テレビ西日本 アナウンサー)
- ・シンポジスト
小林 亮寛 (野球塾コビーズ 代表 元プロ野球選手)
鶴我 隆博 (ライジングゼファー福岡 取締役育成普及部部长 元中学校教師)
岩城 規彦 (中村学園女子高等学校 剣道部監督)
神谷 拓 (関西大学 人間健康学部 教授)

次期開催地あいさつ 京都府中学校体育連盟会長 野川 晋司

【2日目 1月20日(金)】

会場：オリエンタルホテル福岡 博多ステーション

4 分科会 9:00~11:20

第1分科会(3階 YAMAKASA)

『中体連の組織及び競技会の在り方とその運営』

パネリスト	大阪中学校体育連盟	大阪市中体連副理事長 大阪市中体連顧問	藤池 由香 廣山真由美
紙上発表 助言者	徳島県中学校体育連盟 鹿児島県中学校体育連盟 (公財)日本中学校体育連盟 鹿児島県中学校体育連盟	理事長 副理事長 副会長 会長	賀好 行彦 釜付 純次 大塚 洋一
司会者 運営責任者	鹿児島県中学校体育連盟 福岡大会実行委員会	副会長 副会長	大平 公明 前田 伸行 園山 浩

第2分科会(3階 YAMAKASA)

『豊かな心と健やかな体を育む運動部活動』

パネリスト	長野県中学校体育連盟 千葉県小中学校体育連盟	研究部委員長 事務局次長	古越 祐司 岩井 洵
紙上発表 助言者	宮崎県中学校体育連盟 (公財)日本中学校体育連盟 宮崎県中学校体育連盟	副理事長 副会長 会長	佐藤 雄太 石川 一博 古川 康二
司会者 運営責任者	宮崎県中学校体育連盟 福岡大会実行委員会	副会長 副会長	谷口 行孝 安部 博智

第3分科会(3階 YAMAKASA)

『連携でつくる運動部活動』

パネリスト	三重県中学校体育連盟 岩手県中学校体育連盟	研究部長 岩手地区中体連評議員	城口 直紀 菊地 正道
紙上発表 助言者	大分県中学校体育連盟 (公財)日本中学校体育連盟 大分県中学校体育連盟	研究部長 副会長 会長	濱崎 憲司 田中 節 西川 幸宏
司会者 運営責任者	大分県中学校体育連盟 福岡大会実行委員会	理事長 副会長	園田 啓助 大塚 充敏

第4分科会(3階 EBISU)

『当面する運動部活動の諸問題』

パネリスト	北海道中学校体育連盟 広島県中学校体育連盟	調査研究委員 研究部長	福本 亘哉 夏木 誠
紙上発表 助言者	長崎県中学校体育連盟 (公財)日本中学校体育連盟 長崎県中学校体育連盟	副理事長 副会長 研究部会長	佐藤 俊介 小野坂寧晃 田川信一郎
司会者 運営責任者	長崎県中学校体育連盟 福岡大会実行委員会	会長 副会長	竹市 保男 藤丸 豊

5 閉会行事 11:20~11:30 各分科会場

- (1) 開催あいさつ 福岡県中学校体育連盟代表
- (2) 閉会のことば

基 調 報 告

第39回(公財)日本中学校体育連盟研究大会
福岡大会実行委員会 会長

野 口 修 司

現在の中学校の運動部活動を取り巻く環境は、教員の多忙化、地域における少子化の加速による部員数の減少、指導者の不足や保護者や地域からのニーズの多様化など多くの課題が山積している状況です。しかし一方では、運動部活動が学校教育の一環として行われ、我が国のスポーツ振興を大きく支えてきたというのも事実です。また、生徒同士や生徒と教員との好ましい人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、生徒の健全育成に大きな役割を果たしてきました。

第1回研究大会が昭和60年に始まり、本研究大会で39回を迎えます。これまでに研究主題が3つ立てられ、本研究大会の主題「豊かなスポーツライフの実現に向けて」が4つ目の主題となり2年目の大会です。中学校の部活動における様々な課題について各都道府県やブロックを中心に研究を進め、本研究大会において発表・協議される内容は、われわれ中体連関係者に多くの気づきや示唆を与えてくれるものとなっています。

本研究大会は、全国各地から運動部活動指導者及び中学校体育連盟の運営に関わる方々が一堂に会する貴重な場となります。当面する諸課題やよりよい運動部活動の方向性について、講演やシンポジウムによる貴重な提言や提案、そして分科会での研究協議を通して、持続可能な運動部活動のあり方や中学校体育連盟の今後の役割を考えていく機会にしたいと考えています。

結びに、本研究大会が大いなる成果を上げ、(公財)日本中学校体育連盟の発展はもとより運動部活動に携わる全国各地の皆様の躍進につながることを祈念いたしまして、基調報告とさせていただきます。